



JPEG テスト支援ツール「iFuzzMaker」利用規約

本利用規約は、独立行政法人情報処理推進機構（以下「IPA」という）が提供する「JPEG テスト支援ツール『iFuzzMaker』」（ツール本体、ソースコード、関連する全てのドキュメント等を含む。以下「本ツール」という）を利用する方が遵守しなければならない事項を定めたものです。本ツールの利用を希望する方は、事前に以下の各条項をお読みください。これらの条項のいずれかにご同意いただけない場合は、本ツールをご利用いただけませんのでご注意ください。

なお、本ツールは、BSD License (The BSD 3-Clause License¹) 及び CPOL (The Code Project Open License²) が定める条件の下で配布されていますので、BSD License 及び CPOL の内容もご確認ください。

第1条 利用許諾及び定義

1. IPA は、本利用規約の全ての条項に同意した者に対して、本利用規約に従って、本ツールの利用を許諾します。
2. 本利用規約において「利用者」とは、本利用規約の全ての条項に同意した上で、本ツールを利用する者をいいます。
3. 本利用規約は、BSD License 及び CPOL の各条項、及び本条から下記第 10 条までの各条項から成り、その全体が一体となって効力を有します。

第2条 著作権

1. 本ツールの著作権は、BSD License 及び CPOL が定める条件の下で IPA が保有しており、国際条約及び著作権法により保護されています。利用者は、本ツールの利用に際し、次の各号のとおり取り扱うものとします。
 - (1) 本ツールの著作権表示及び／又は商標表示を削除又は変更しないこと。
 - (2) 本ツールの全部又は一部に加除変更(前号を除く)を加え、これを他人に譲渡したり利用させたりする場合には、本利用規約の各条項に従うこと。

第3条 利用の停止

1. IPA は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、事前に IPA のウェブページに掲載して、本ツール利用の停止、制限又は休止をすることができるものとします。この場合、IPA は、補償その他一切の責任を負いません。
 - (1) 本ツールに重大な障害が発生した場合
 - (2) その他、IPA が本ツールの利用の停止、制限又は休止が必要と判断した場合
2. 前項に関わらず IPA は、緊急を要する場合は、ウェブページへの事前の掲載を省略して直ちに前項所定の各措置を講じることができるものとします。

第4条 補足的確認

1. 本ツールは、利用者自身が作成したソフトウェア製品、または利用者が権利者から正当に利用許諾を得たソフトウェア製品に、脆弱性が存在するか否かをテストする目的のために開発されており、その他の用途への利用は想定しておりません。従って、他の用途に利用した場合の動作状況及びその結果などについて、IPA は一切関知しておりませんのでご注意ください。
2. 利用者は、本利用規約に基づく許諾の下で本ツールを複製し改変し配布等する権利の行使にあたって、信義誠実の原則を遵守する法律上の義務を負い、また、他人の正当な利益を侵害したり等によって権利の濫用と認められる場合には、かかる権利行使は法律上許されておりませんので、ご注意ください。

¹ The BSD 3-Clause License (<http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>)

² The Code Project Open License (<http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>)



第5条 利用者の設備

1. 利用者は、本ツールを利用するために必要なすべての機器（ソフトウェアの利用に係るすべてのものを含みます。）を自己の負担において準備するものとします。その際、必要な手続は、利用者が自己の責任で行うものとします。
2. 本ツールを利用するために必要な費用その他本ツールの利用に係る一切の費用は、利用者の負担とします。

第6条 保証の拒絶及び免責

1. IPA は、本ツールおよび本ツールが生成するテストデータが、第4条第1項所定のソフトウェア製品に内在する全ての脆弱性の検知を保証するものではありません。
2. 前項の他、IPA は、本ツールにプログラミング上の誤りその他の瑕疵のないこと、本ツールが特定目的に適合すること並びに本ツール及びその利用が利用者または第三者の権利を侵害するものでないこと、その他いかなる内容の保証も行わないものとします。また本ツールに関して発生するいかなる問題も、利用者の責任及び費用負担により解決されるものとします。
3. 利用者は、自己の責任と判断に基づき本ツールを利用し、本ツールの利用に伴って生じる情報（検査結果を含む）及び通信の際に発生する各種電文（電磁的記録を含みます。）を管理するものとし、IPA に対しいかなる責任も負担させないものとします。
4. IPA は本ツールの補修、保守その他のいかなる義務も負いません。また、本ツールの利用ならびに本ツールが作成したテストデータの利用／または利用不全に起因して、利用者が生じた損害または第三者からの請求に基づく利用者の損害について、法的原因の如何を問わず、一切の責任を負わないものとします。利用者が本ツールの利用に関連して第三者に与えた損害、損失などは、利用者の責任とします。

第7条 改訂版または後継版の提供

1. IPA は、任意に本ツールの改訂版または後継版を提供することができます。
2. 前項によって 本ツールの改訂版または後継版が利用可能とされたときは、当該改訂版または後継版の利用に対しても本利用規約を自動的に適用するものとします。

第8条 利用規約の改訂

1. IPA は、必要があると認めるときは、利用者に対し事前に通知を行うことなく、いつでも本利用規約を改訂することができるものとします。
2. IPA は、本利用規約の改訂を行った場合には、遅滞なく IPA のウェブページに掲載し公表するものとします。

第9条 対価など

1. 本利用規約に基づく本ツールの利用は無償です。

第10条 一般条項

1. 本ツールに関する質問は、isec-fuzz-inq@ipa.go.jp までお問い合わせください。

以上